

おがわ

議会だより
チェック・アンド・バランス



議長・副議長はじめ 議会構成を決定

町民の声を町政に8人が一般質問 P.11

No. **77**
2015.12.1

実に感謝（下里3区地内）





小川町議会

すたむ 星夢ちゃんの キーワード解説

9月の改選を経て、新たなメンバー構成で歩み始めた小川町議会。議会ってどんなところ？ どんなことをやっているの？ 星夢ちゃんが気になった仕組みや役割を解説します。

常任委員会

小川町議会では議会委員会条例に基づき、総務・経済建設・厚生文教の3つの常任委員会を設置しています。議員は必ずいずれかの常任委員会に所属します（任期2年）。

それぞれ所管する事務事業の調査・研究を行ない、議案及び請願等を審査します。

議会運営委員会

3常任委員会から委員長ほか1人を選出し構成されています（6人）。

- ・議会の運営
- ・議会の会議規則・委員会条例等
- ・議長の諮問

に関する事項を協議します。

比企広域市町村圏 組合議会

小川町・東松山市・滑川町・嵐山町・川島町・吉見町・ときがわ町・東秩父村の8市町村の議会から選出された18人により構成されています。

消防・救急業務、斎場の管理運営、介護障害審査会にかかわる議会です。

埼玉中部資源循環 組合議会

小川町・吉見町・東松山市・桶川市・滑川町・嵐山町・ときがわ町・東秩父村の8市町村の議会から選出された20人により構成されています。なお、川島町も新たに加入の予定です。

人口27万人の新可燃ごみ処理施設建設・運営にかかわる議会です。

小川地区衛生 組合議会

小川町・滑川町・嵐山町・ときがわ町・東秩父村の5町村の議会から選出された12人により構成されています。

可燃物・不燃物などのごみ処理と、し尿処理にかかわる議会です。



議長 根岸成美

副議長 柴崎 勝

議長・副議長はじめ議会構成を決定 一途に一心に、町政の 発展のために努めます

議長就任のごあいさつ

去る9月臨時会において、議員各位のご推挙をいただき、議長のお任に就任させていただきました。不偏不党・公正無私の立場を堅持し、円滑な運営に傾注する所存です。

また、住民の代表である議会の役割・機能をいかんなく発揮し、進行する人口減少や少子高齢化等の課題を解決に向けて、町執行部とともに尽力いたします。

一途に一心に、さらなる町政の発展と、住民のご負託にお応えできるよう努めます。

変わらぬご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

議会運営委員会

委員長 戸口 勝
副委員長 高瀬 勉
柴崎 勝
大戸 久一
高橋さゆり
島崎 隆夫



後列 戸口 勝
金子 美登
松本 修三
前列 委員長 高橋さゆり
副委員長 田中 照子

厚生文教常任委員会

所管課：町民生活・健康増進・福祉介護・子育て支援・学校教育・生涯学習

経済建設常任委員会

所管課：環境保全・産業観光・建設・都市政策・水道



後列 笠原 規弘
柴崎 勝
松葉 幸雄
前列 委員長 大戸 久一
副委員長 井口 亮一

総務常任委員会

所管課：総務・政策推進・税務・会計



後列 宮澤 幹雄
山口 勝士
高瀬 勉
前列 副委員長 笠原 武
委員長 島崎 隆夫
根岸 成美

小川地区衛生組合議会議員

根岸成美・大戸久一・高橋さゆり・島崎隆夫

比企広域市町村圏組合議会議員

根岸成美・笠原 武

埼玉中部資源循環組合議会議員

根岸成美・戸口 勝・山口勝士

議会選出監査委員

松本修三

評価できること

- 入 税収の増加（特別収納対策室・コンビニ収納の効果等）
- 入 特別土地保有税の整理（下里地内の山林を公売し収入増が図られた）
- 出 小川赤十字病院の改築・運営を支援（医療体制の充実）
- 出 町立保育園の遊具を更新
- 出 国指定史跡となった下里青山板碑製作遺跡群の保存・活用
- 出 町ホームページのリニューアル（アクセス数：年 5000 件→20 万件）
- 出 駅北側整備事業が進む（北口整備のために測量を実施）

一時的保育事業を竹沢保育園へ拡大

実績は前年度と比べ延べ 1000 人増

第2分団第4部詰所改築事業



地域の防災力が強化

町立学校にエアコンを設置

快適な学習環境を提供
(竹沢・八和田・東小川・みどりが丘小・櫛台中)

執行率
96%

を認定

高齢化や若年層の人口流出を背景に財政運営は依然として厳しい状況です。ここでは、実績や関心が高い事業をピックアップ。議会が注目・指摘した事業を中心に紹介します。

平成 26 年度

一般会計歳出決算総額 105 億 9800 万円

大型決算

平成 26 年度は、細川紙のユネスコ無形文化遺産登録をはじめ、下里青山板碑製作遺跡群が国指定史跡になるなど明るい話題が続きました。決算総額も 14 年ぶりに 100 億円超。規模・事業内容ともに充実したものとなりました。一方で、

課題と考えること

- 入 地方債（借金）の借り入れが増加（現在高は過去最高の 101 億円）
- 入 各基金（貯金）の取り崩しが増加（基金残高の減少）
- 出 不用額が多い（2 億 2150 万円が使われなかった）
- 出 企業立地支援条例の施行に伴った効果がみられない
- 出 働く世代の女性支援がん検診の受診率が低い（子宮頸がん 17%・乳がん 40%）

細川紙ユネスコ登録推進事業 232 万円 推進の割には少額



和紙体験学習センター
活用が不透明

254号バイパス迂回路（町道 228 号線）が未完成



県道部分の進捗も課題

旧上野台中の活用が依然として不透明

維持管理費に 354 万円



早期の有効活用を

課題

今定例会は、平成 26 年度一般会計ほか各会計決算の認定を中心に、平成 27 年度一般会計及び特別会計補正予算・条例の改正・人事案件など 18 件を審議。全て認定・可決・同意しました。
なお一般質問には 8 人の議員が登壇し、当面する諸問題について町の見解や対応をただし、政策提言を行ないました。

平成26年度 一般会計 決算 (主な質疑)

総質疑数 212 件
・本会議 110 件
・委員会 102 件

まちづくり・くらし

ホームページ

業者選定と 委託料

問 リニューアルされたホームページを見ると、仕様や内容が嵐山町のものと同じようなものがある。業者の選定と、業務委託料416万円は妥当だったのか。

答 業者については、同じであろうと思っております。予算の設定をし、数社に募ったところ実際に応札されたのが1社でした。プロポーザル方式¹で提案を受けて決定したところですが、実績もあ

り極めて有能な業者だと理解しています。

参考までに、以前は年間のアクセス数が約5000件だったものが、リニューアル後は20万件と飛躍的に増加しています。委託料は他自治体と比べても、低額で良心的な金額です。

防災

防災備蓄品・ 物資の購入

問 女性や赤ちゃん、高齢者に特化した物資の購入は。

答 平成26年度では、ア

ルファ米・缶入りパンとビスケット・飲料水・200ボルト対応の発電機3台・ストーブ・懐中電灯等を購入しました。強いて言えば、缶入りパンは比較的やわらかく誰でも食べられるので、高齢者でも食べやすいものだと考えています。

特別土地保有税 滞納額は2億 7000万円超

問 当町にとって長年にわたる懸案事項である。動向は。

答 大口の法人が3社ありましたが、今回その1社の所有する土地を全て公売等で売ることができました。あわせて、その法人については資産がまったくないという状況が確認できたので、地方税法の規定に基づき不納

欠損²処分をしました。残る2社については、安易に不納欠損をするというのではなく、しっかりと債権を確認しながら、収納に向けた処理を粛々と行ないます。また、県の担当課からの助言をいただく中で、対応を具体化し進めていきたいと思っています。

都市公園遊具等更新事業 遊具の点検は

問 町内の公園において、園内灯が倒れ危険な状況にあった。遊具等の点検は行なわれているのか。

答 公園台帳を作成しており、研修を受けた職員が年1回点検を実施しています。危険な園内灯・遊具・樹木は撤去する等、早急に対処するようにします。

町の財産 町指定文化財の 保護対策

問 保護対策は十分か。また、下草伐採を要する場所の対応は。

答 現在、町で指定している45件の文化財に対して、少額ですが1件につき年間3000円の補助金を基本とし、所有者に維持管理をお願いしています。

また、例えばこれが壊

れてしまったり、天然記念物の場合は枯れてしまった等の報告があれば、町・県の補助等を活用し、修繕や回復といった努力をしています。

下草伐採については、シルバー人材センターや地元の保存会にお願いしている箇所もありますが、当然町としても管理の責務がありますので、訪れる方に不自由がないよう努めます。



ぎょうにんづかつかぐん
行人塚塚群 (上横田地内)

子育て・教育

総合的な学習の時間

みずから学び・みずから考える力の育成

問 「総合的な学習の時間³」の効果的な実施は。

答 6月議会で提案のあった「子ども議会」の準備を進めています⁴。18歳選挙権を目前に効果的であると考えます。平成5年の資料を参考に進めたいと思います。

学童クラブ

放課後児童の 健全育成

問 子ども子育て支援新制度の施行に伴って、開所時間の延長に係る人件費等に補助金を得られたりと、実際に保育時間の延長がなかった学童クラブもある。保護者のニーズを受けて、時間外や土



学童クラブで宿題

日の受け入れといったことも展開されているのか。

答 町内7学童クラブのうち、6カ所は19時までで、残る1カ所については18時30分まで開所しています。また、長期休業中は、おおむね7時30分から19時までが基本となっています。

開所日については、各クラブともに年間で29

0日前後。年52週として平日5日間で260日。残る30日程度が長期休業中等の開所になるうかと思っています。

一時的保育事業

利用者が大幅増

問 大河保育園に続い

て、竹沢保育園で受け入れを開始した。事業の実績・総括を。

答 前年度と比べて、利用者は延べ1000人増えました。年齢別で見ても、それぞれ伸びています。現状を踏まえ、拡大できることは検討します。

教育相談室 教育相談室移転 の効果は

問 教育相談室の移転を踏まえ、効果はどうだったか。

答 利用件数は多くなっています。移転先が高谷ということで、デメリットとしては交通の便が悪くなったことが挙げられます。メリットは、利用者から「周りを気にしないで来室できる。面談室が2つになり予約がしやすくなった」という声が聞かれました。

福祉・医療

乳がん等の検診推進

働く世代の 女性支援

問 乳がん・子宮頸がん検診推進事業の受診率は。

答 受診率は、乳がん検診が215人で40%、子宮頸がん検診が190人で17%です。

観光整備

埼玉伝統工芸会館運営費

細川紙のユネスコ登録を受けて

問 和紙を目的に訪れる来館者の満足度は。

答 手すき体験や和紙職人との対話を望む声にこたえています。関連施設との連携と館内の和紙に関するスペースの拡大を考えています。

板碑採掘遺跡群

保存と活用

問 観光資源としての活用は。

答 国史跡の指定を受け、本格的な保存・活用については、平成27、28年度の2カ年で文化庁の指導のもと、進めていきたいと考えています。



¹複数の者から企画を提案してもらい、その中から優れた提案者を選定することです。
²滞納している徴収金が徴収できなくなったとして、その調定の金額を消滅させることです。

³みずから課題を見つけ、みずから学び・考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てることなどをねらいとしている学習時間です。

⁴平成28年秋ごろを予定しています。

平成26年度 特別会計 決算 (主な質疑)

■国民健康保険

国保事業、 現在の状況は

問 国保事業は、市町村単位で運営されているが、平成30年から県が取りまとめる広域事業となることが国会で決まった。現在の状況は。

答 国保連合会の主催で会議が実施されていますが、具体的な内容はこれからで、現在お伝えできることはありません。ただ、方向性として国保データベースを利用したデータヘルス事業、そして全自治体で糖尿病重症化予防事業の実施を目指しているとのこと。また、国の考えとして

税の収納率向上と、特定健診の受診率60%**5**を目指しており、その目標が達成できた自治体に対して、国の支援の方向が示されました。

健康づくりに 対する目標

問 予防医療の充実はもとより、日ごろから身近に取り組むことのできる機会が必要では。

答 平成27年度、町長の指示で、健康長寿を目指して、観光や文化も取り合わせた健康づくり事業に取り組みます。担当の3課（健康増進・産業観光・生涯学習）で協議をし、まずは歩こうということになりました。ほほほ隊の方たちにもご協力いただき、30分〜1時間くらいで歩ける身近な19コースをつくりました**6**。あわせて、歩く前にはラジオ体操をしていただくということで、早速これを11月ごろをめど

に進めていきます。

ラジオ体操の 推進を

問 健康づくりの先頭に立って、役場でもラジオ体操の推進をすべきでは。

答 PR不足でしたが、役場有志で実施しています。健康づくりの機運を高めていくために、できることから進めていきます。

■介護保険

高齢者虐待の 実態は

問 相談件数は減っているが、訪問件数は増えている。実態は。また、虐待の通報や情報提供はどのように受けているのか。

答 新たな虐待の相談は少ないですが、継続的な対応・支援が多くなっています。親子2人暮らし



役場前でのラジオ体操

という家庭状況で、母親や父親の行動がどうしても理解できず、虐待に至るといった事案が見受けられます。また、情報の提供は、隣近所から通報を受けた警察をはじめ、区長・民生委員等からいただいています。

認知症サポーター養成講座

問 平成26年度はサポーター養成数が299人とのこと。受講者の傾向や事業の推進は。

答 現在は、住民の皆さんはもとより事業所、例えば金融機関等の職員の皆さんを対象・中心に行ない、窓口で認知症の方が来た際の対応を勉強していただいています。また、みどりが丘の自治会等にもお邪魔して講習を進めているので、それらは今後も広めていきたいと考えています。

■下水道事業

接続率の向上は

問 事業の予定に対し、延伸率は。また、接続率向上のための努力は。

答 平成26年度は、58.2%まで進んでいます。接続率を上げるために、説明会を開いたりシルバー人材センターに委託をして、年間300軒ほどを回り啓発を行なっております。

■水道事業

剰余金の処分・ 決算の認定は

問 財政難を心配するが。

答 老朽化対策と耐震化を進めていかななくてはならないと考えます。その上で、水道料金の改定も視野に入れていく必要があります。

平成27年度 一般会計 補正予算 (主な質疑)

道路新設改良費

歩道の整備事業 の詳細は

問 町道5308号線の改良に300万円、その用地買収に3500万円が計上されている。具体的には歩道の整備とのことだが、事業の詳細は。

答 町民会館駐車場北側の歩道を整備・新設します。あわせて、購入した用地にポケットパーク**7**を計画しています。

酒蔵めぐり

今年度のイベント の詳細は

問 昨年度末に県観光課



みんなで楽しく おいしい給食

学校給食センター 給食センターの 今後は

が主体で行なった酒蔵めぐりは大盛況**8**であった。それを受けて、今年度は町が主体で同イベントを企画するようだが詳細は。また、今後の展開は。

答 今年度は、同程度のイベントを3月末に開催予定です。また、今後の方向性としては、町・商工会と町内3酒蔵の関係者を中心に実行委員会を組織して、恒常的に酒蔵または地酒等のキャンペーンをしていく旨が確認されています。

問 備品の購入とのことだが、老朽化を考えたとき、今後もういった費用が必要になってくるのか。給食センターの長寿命化や今後のあり方は。

答 今回の対象は、電気式の消毒保管庫と検査用保管庫となります。また、老朽化ということで、こういった更新や修繕の費用が増えています。今後

のあり方は、担当課だけでなく町全体で取り組んでいきます。当町の給食はとてもおいしくて評判がいいです。そういうものを維持できるように模索しています。

地方創生関連予算

いきいき子育て 支援事業の継続

問 財源の条件として、①ソフト事業に限られること ②今年度内に事業が完了することを考えたとき、対象のいきいき子育て支援事業として提案された2事業（第3子以降の給食費無料化・就学前の助成金）は、来年度も継続されるのか。また、その際の財源は。

答 現段階では、継続性のある事業として位置づけし、予算措置を考えているところです。また、その際の財源として、2分の1程度の補助率になるであろう新型交付金を考えています。

地方創生関連予算

まちおこし事業 の詳細を

問 ご当地キャラクターまちおこし事業の詳細を。

答 まずは、小川和紙の新しいパンフレットをつくりたい。他産地に倣い、商品カタログの要素や役割を持ったパンフレットを考えています。次に、小川和紙のロゴマークやマスケットデザインの意匠登録を行ないます。

もう1点は、クリアファイルの作製を考えています。前段のロゴやデザイン、星夢ちゃん等をあしらったクリアファイルをつくりながら、小川和紙の宣伝普及に努めます。

問 星夢ちゃんの知名度は高く、町を代表するキャラクターと言っても過言ではない。その中で新たなキャラクターは必要なのか。星夢ちゃんを生み育ててきた商工会青

年部をはじめ、住民の皆さんの理解を得られると考えているのか。

答 当初はそういった新たなキャラクター等によるまちおこしを考えていましたが、議員各位との事前説明会で意見・提言を頂戴し、再考したところです。

単にキャラクターをつくるということではなく、新しいロゴや、そういったデザイン画のようなものを活用しながら、小川和紙に特化したまちおこしにつなげていきたいと考えています。また、関係の皆様との連携を図りながら、まちづくりを推進していきたいと考えます。



星夢ちゃん

5平成26年度の当町の特定健診の受診率は36%でした。
6各コースが記載されている「健康長寿ウォーキングマップ」を作成しました。マップは役場などで入手できます。

7ポケットのように小さい規模の公園のことです。
8約6000の方が訪れました。



町民の声を町政に

次ページ

町政をただす

一般質問とは、議員が町の仕事について、町長の考えや意見を求め、事柄をただしたり、議員や町民の意見などを述べることをいいます。議員1人の持ち時間は75分に定めており、議会だよりでは、このやりとりを要約して報告しています。今議会では、8人の議員が一般質問を行ないました。



審議議案と議員の賛否

議案名	笠原武	井口亮一	笠原規弘	田中照子	高瀬勉	山口勝士	高橋さゆり	松本修三	金子美登	松葉幸雄	大戸隆夫	島崎勝	柴崎幹雄	宮澤勝	戸口勝美	根岸成美	審議結果
町道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
個人情報保護条例の一部を改正する条例制定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
事務手数料条例の一部を改正する条例制定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
埼玉中部資源循環組合を組織する地方公共団体の数の増加及びこれに伴う規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成27年度一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成27年度国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成27年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成27年度介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成27年度下水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成27年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成26年度一般会計歳入歳出決算の認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
平成26年度国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
平成26年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
平成26年度介護保険特別会計（保険事業勘定）歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
平成26年度下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
平成26年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
平成26年度水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

※（○）は賛成、×は反対、欠は欠席）議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します

小川町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に対する意見・要望書を提出

現在町では、まち・ひと・しごと創生法の施行を受けて、地方創生に向け具体的な施策を示した今後5年間の計画である「小川町版総合戦略」を策定中です。議会は執行部に対し、下記事項の実現を求めて、意見・要望書を提出しました。

- 1 戦略目標を達成するための機構改革を実施すること
- 2 小川和紙（細川紙）を核とする観光拠点を整備し、資源活用を促進して稼ぐ力を醸成すること
- 3 有機農業をはじめ「農業の6次産業化」を推進し、自立支援策と雇用を創出すること
- 4 若い世代の心に響く結婚、出産、子育て支援策を推進して定住を促進すること
- 5 まちなか市街地の活性化のために、「空き家」「空き店舗」の利活用と新規出店の起業を支援すること

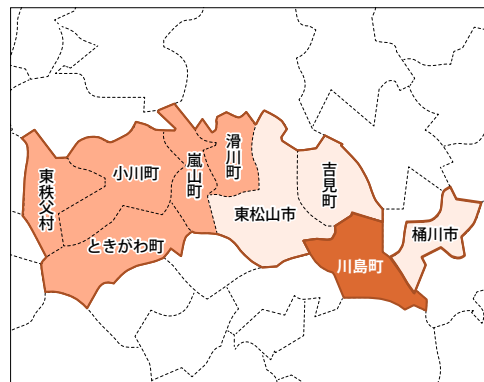
条例の制定改正（主な質疑）

個人情報保護条例

マイナンバー制度の影響は

問 個人情報情報が不当に利用された場合にわかるのか。また、町民にとって何か便利になることがあるのか。

答 マイナポータル制度⁹を使用して、自分の個人情報ができるように使われたか、誰がどこに提供したか確認できるようにします。また、手続については、事務処理や窓口の対応等のスピードアップが図られると思います。



埼玉中部資源循環組合

川島町の加入は

問 川島町の加入による当町のメリット・デメリットは何か。

答 メリットは費用分担をする団体が多くなることで、デメリットは処理量等が増えることです。

問 川島町がこの時点で加入を申し込んできた理由は、

答 川島町は川越市に申し入れを行なっていました。川越市での新たな処理施設の供用開始は平成45年、川島町の計画は平成38年と開きがあり、今回こちらに加入の申し出を行なったということです。

消防・救急・斎場・ごみ・し尿処理等の議会報告

比企広域市町村圏組合議会

（消防・救急業務・斎場の管理運営、介護・障害審査会）

平成27年8月26日に第2回定例会が開催されました。

平成26年度一般会計ほか、各特別会計の決算の認定をはじめ、平成27年度一般会計及び特別会計補正予算・条例の改正・人事案件など15件を審議。全て可決・同意しました。

全会計の町負担金は、おおむね5億2000万円。そのほとんどは、消防費の4億9000万円となっています。また、大きな動きとして、平成31年度の供用開始をめどに東松山斎場の改築事業が進みます。

埼玉中部資源循環組合議会

（可燃ごみ処理）

平成27年8月17日に定例議会が開催されましたが、上程された議案はありませんでした。一般質問者は1人で、その内容は、今後の建設費抑制についての質問でした。

管理者である吉見町新井町長の答弁は、「広域化による運営費の大幅減と無駄な経費をかけない基本姿勢で進めていき、同時に建設地周辺地域の皆様に理解を得ることが大事である。現状は、その要望を伺い図面化した程度で、どのような施設をつくるかの段階ではない」とのことでした。

また、新たに川島町の加入申請について報告がありました。

小川地区衛生組合議会

（ごみ処理、し尿処理）

平成27年8月19日に第2回定例会が開催されました。

平成26年度一般会計決算の認定と、平成27年度一般会計補正予算を審議。原案のとおり認定・可決しました。

現在、中爪地内の焼却施設は老朽化が著しく、平成26年度は、維持管理費に約1億円かかりました。

平成33年度の供用開始を目指して動き始めた新たな組合の経過を見守りながら、当組合の今後のあり方や役割についても考えていく必要があります。

子育て支援

高校生医療費・小中学生給食費無料化を

現在のところ考えていません

子どもは国の宝・町の宝、大事にしましょう

質問

子どもの貧困が大きな社会問題になっている。その対策の一環として「高校生の医療費」と小中学生の給食費の無料化」を実施したらどうか。

答弁

政策推進課長 現在のところ考えていません。今後、高校生医療費の無料化については、少子化対



笠原 武 議員

自然を生かした観光事業

質問

町の活性化、特に空き家対策と町の自然を生かした観光事業について、町民と力を合わせた取り組みは。

答弁

都市政策課長 空き家について町独自の調査はしていません。今後、移住



給食センターでの調理風景

その他の質問

- ◎自衛官募集問題と小川町上空飛行の米軍専用機問題
- ◎地域住民生活等緊急支援のための交付金
- ◎デマンドバス（タクシー）

いきたいと思っています。

促進の受け皿、建物の管理等積極的に取り組むべき課題として認識しています。自然を生かした観光事業については、ハイキングコースの整備管理、和紙・酒などの産業面とあわせて、地域住民・商工会と力を合わせて取り組んでいます。今後も温泉・農産物・食等多方面にわたって努力します。

これからが正念場、気を引き締めてまいりましょう

まちづくり

「金がない」なら何をする

活力ある地域づくりを目指します



戸口 勝 議員

質問

東松山斎場改築・埼玉中部資源循環組合ごみ処理場建設・小川町駅北側整備計画をはじめ、今後町で予想される巨額財政投資と町財政の見通しは。

答弁

政策推進課長 3つの事業の合算は39億4000万円程度で、その財政負担は平成31年～34年までの4年間で7割を超えると考えます。また、財政調整基金の残高は25年度末と比べ26年度末は24・8%の減となり、27年度当初予算では5億1397万4000円であつた残高の4億6397万9000円の基金を取り崩し財政不足に充てました。今後さまざまな工夫を加え、経費の節減・効率的な事務執行に努めます。

質問

「今後30年で、町の施設を効果的かつ効率的に40%縮減し、適切な維持管理を行ない、寿命を延ばし、利活用の促進や統廃合を進めて将来負担の軽減を図る」とのことだが、今後の計画の流れは。



東松山斎場

答弁

政策推進課長 3つの柱を優先的に取り組む課題として掲げました。
①小・中学校の再編
②旧上野台中学校跡地の活用
③駅周辺公共施設等再編
特に学校教育施設は町の公共施設の総延べ床面積の53・1%を占め、重要な課題となっています。平成29年3月までに、この3つの柱の方向性を決定することを目指します。

欲しかったなあ……

地方創生事業

プレミアム付き商品券の効果は

消費喚起につながりました



高瀬 勉 議員

質問

販売時の対応と判断は適切だったのか。事前の準備等は。

答弁

産業観光課長 数多くの町民の方々におこたえできるよう、敷地等の広さを備える町内5カ所の町施設を確保しました。また、確実な販売方法として直接販売を選択し、準備を進めました。

質問

購入限度額や利用対象外の9項目は守られたのか。不正等の報告は。

答弁

産業観光課長 販売時に購入

者の住所・氏名・販売希望額を確認し、名簿を作成しました。翌日以降、2人1組の体制でチェックしたので、販売限度額は守られたと思っています。

また、コンビニで「電子マネーにチャージしているのでは」との問い合わせがありました。対象のコンビニに照会したところ、入金

はしていないとのこと、利用対象外の9項目も調査していく必要があると考えます。

質問

事業の振り返り。

答弁

産業観光課長 発行時期が6月中旬であつたことから、夏商戦や七夕まつりでの消費喚起に効果があつたと考えています。今後は県内だけでなく、他県の実施状況も調査していく必要があると考えます。



販売を待つ長蛇の列

現在、協定医療機関で中学3年生までは医療費の窓口払いを廃止しています。

平成27年6月に販売したプレミアム付き商品券は、好評につき完売しました。販売総額は、1億7,000万円（発行額2億2,100万円）でした。

平和推進事業

広島平和式典報告会に工夫を

検討していきます



高橋さゆり議員

非核平和都市宣言の町らしい展開をしなきゃ

質問 戦争遺跡を残し、後世に語り継ぐことが大切だと思いが、当町の考えは。

答弁 生涯学習課長 当町では5カ所に地下壕群があったことがわかっていました。しかし地下壕については崩落の危険性があり、保存活用は慎重に判断していく必要があります。小川和紙が

風船爆弾の気球紙などに利用され、小川高等女学校の生徒や大河国民学校の児童までが、気球紙の張り合わせ作業に動員されていた事実などあわせ、地下壕群がつくられた歴史的事実を戦争を知らない世代に語り継ぎ、平和の大切さを改めて知っていただくよう努めていきます。

質問 毎年、中学生を広島市の平和式典に派遣しているが、その生徒全員で報告会を開催できないものか。

答弁 教育長ほか 原稿用紙3枚程度の感想文を閲覧できるように展示しています。「広報おかわ」にも参加した全員の感想文を載せています。また、それぞれの中学校では、2学期の始業式や学校祭等で、全校生徒の前で報告会を実施しています。毎年やるとは言えませんが、検討していきたいと思っています。



原爆死没者慰霊碑に献花する中学生

公共交通網形成計画はまちづくりと一体的か？

まちづくり 公共交通網形成計画の進捗は まちづくりの観点も含めて計画を作っていきます



井口亮一議員

質問 政府は、まちづくりと一体的に進めることを特徴づけた「公共交通網形成計画」を作成する自治体を総合的に支援することにしている。町は計画作成を進めているが、どのように進捗しているのか。

答弁 都市政策課長 第1回地域公共交通網活性化協議会を開催し、役員や規約を定め、当町における公共交通の現況と課題について説明しました。今後は計画の素案

答弁 都市政策課長 協議会の委員は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の規定に基づき、町・国・県・公共交通事業者・道路管理者・公安委員会・利用者及び学識経験者で構成されています。さまざまな立場での委員構成になっていきますので、連携を図りながら「地域公共交通網活性化協議会」を進めていきたいと考えています。

の協議、パブリックコメントを実施し、年度末までに計画を策定したいと考えています。

質問 地区別懇談会で交通の利便に関する意見がとて多かったようだが。

答弁 都市政策課長 大勢の方から交通の利便性が低いとのご意見をいただきました。住民の皆様のご意見を参考にし、協議・検討していきます。

質問 産・官・学・金・労・言の連



公共交通の担い手「バス」

まちづくり

町道119号線、寒沢坂の道路改良を急ぐべし 雨水の処理や落石に対する防護柵等を検討します



金子美登議員

ムダ・ムリ・ムラを省いて、段取りを立ててください

質問 去る9月9日（水）台風18号の豪雨により、小川町下里地内から嵐山町遠山へ抜ける幹線道路、通称寒沢坂のH鋼で土砂防止柵をしてあるすぐ上が大量に崩れた。地元は危険性を

知っているため通行を見合わせているが、ほかの車は何も気づかず通行している。そこで、①ほかの箇所も崩落の危険があるが、対策は講じないのか ②地元で平成22年4月の日曜と平日の2日間、交通量調査をし

て提供したが、生かされているのか ③川の箇所を車も通るが、遊歩道としても使うという極めて危険な判断をした。双方とも解決すること考えなかったのか。

答弁 建設課長 ① 今後の通行安全のために、道路に流れ出る雨水の適切な処理、落石等に対しては防護柵及び注意喚起などを考えています ②

地元の自主的な交通量調査の資料に関しては、今後有効活用していきます ③県が進める川のまるごと再生プランは、環境整備事業として観光や憩いの場となる遊歩道の整備・清流に親しむための親水護岸整備を行なうものです。新たに行なう河川改修等は、事業の対象外というものでした。今後も引き続き、河川改修の要請を行なっています。



9月8日の寒沢坂の様子

まちづくり

町が元気になる具体的な施策を

さまざまな方策を検討しています

今がチャンス！
元気な町をつくろう！



山口勝士議員

国からも独自のビジョンと計画を立案することが求められています。優先すべき事業は「定住促進」と考えます。現在、提案事業の内容や優先順位、制度設計などの方策を検討しています。この取り組みを力強く推進することにより、少子高

齢化・人口減少の抑制、町の活性化や雇用の場の確保に波及するものと考えます。

認知症の不安を取り除く取り組みを

質問 高齢化率が3割を超えているが、認知症への不安を取り除く取り組みを。

回答 健康増進課長 認知症地域支援推進員配置や認知症サポーターによる「物忘れ相談」など、既に行なっている事業に加え、「認知症ケアパス」の作成・普及を今年度に進めます。また、認知症初期集中支援チームを平成30年4月までに配置、早期診断・早期対応に向けた支援体制の整備を進めていきます。

質問 総合戦略をはじめ、多くの大切な計画がつけられようとしている。住民の皆さんは、町が元気になる具体的な施策を待ち望んでいる。職員はどのような気持ちで、どのような内容をつくらうとしているのか。

回答 政策推進課長 まち・ひと・しごと総合戦略の4つの基本目標に沿って事業の提案を募集したところ、各課から60以上の提案があり、また、当町の人口減少の抑制活性化を図りたいという気持ちのあらわれです。



国からも独自のビジョンと計画を立案することが求められています。優先すべき事業は「定住促進」と考えます。現在、提案事業の内容や優先順位、制度設計などの方策を検討しています。この取り組みを力強く推進することにより、少子高

義務教育

今後、小中学校再編を考えるのか 教育効果を高める観点から検討していきます

誰のための教育？ 子どもたちが受ける最善の利益を追求し、教育行政を推進していくべきだ



島崎隆夫議員

質問 法化された「義務教育学校」の導入の検討に当たっては、子どもたちにとって最善の教育環境を整えることが最優先である。そして導入をする場合は、子どもたちの受ける利益について、丁寧に保護者・住民へ説明をして理解を得ていく必要がある。取り組み方次第では、近隣自治体の模範になると考えるが、町の考えは。

回答 学校教育課長 ほか 本年1月に国が示した指針、6月の法律をもとに検討していきます。

討していきます。

児童生徒の安全

質問 通学路の安全について、目視確認はできているのか。また、草木の繁茂などによる障害物の除去、季節や時間帯によつては道路照明灯の追加設置の必要性を感じるが、町の対応は。

回答 学校教育課長 ほか 通学路の確認点検を進めていきます。

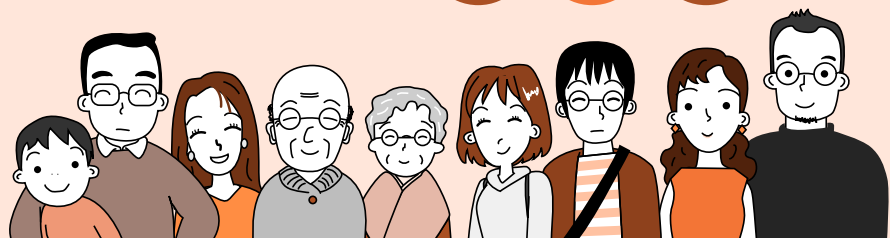
健康長寿の町へ

質問 歯や口腔衛生と病気に関する研究が進む中、保健衛生事業に取り入れる自治体が増えている。当町でも疾病の予防や医療費の抑制につながる可能性のある歯科口腔検診を特定健診などと同様に推進していくことはできないか。

回答 健康増進課長 検診について検討するとともに指導方法を研究していきます。

町民みなさんのひろば

わたしのひとこと



みずから考える

おしだたくみ
ダイアパレス 忍田拓海



少子高齢化・人口減少という問題は、小川町だけでなく日本全体の問題です。ではその中で、小川町はどうすればいいのか。それはとても難しい質問です。しかし、理想に一步でも近づくための努力はできます。逆にその努力を怠れば、小川町に明るい未来はありません。そして、「小川町の未来を考える」ことは、他人任せにしていることではないのだと思います。町民全員が今の現状を認識し、考える必要があります。

私も小川町民の一人という視点から町を見て思うことは、歩道の心許なさです。子どもやお年寄り、障がいを持った人を事故から守る歩道の整備は、優先的に行なうべきだと思います。安心して歩ける道があること、それは安心して暮らせるということに直結します。自分が頭の中で描いている理想をそのままにしておかない。それがよりよい小川町への第一歩になるのだと思います。

和紙に寄せて

おおつかま ちこ
中爪 大塚真知子



細川紙が日本の手書き和紙技術として、ユネスコの無形文化遺産に登録されたことは、大変うれしいことです。私が子どものころは、自分の家で楮をつくっていました。楮の皮をむく作業を手伝ったことが懐かしく思い出されます。また、今でも近所でトコロアオイをつくる方がいて、和紙の原料になるのだなと見ています。しかし、これらの原材料の生産は、ごくわずかになっていると聞きます。地元で賄えるように、休耕地の活用などを考えていく必要もあるのではないのでしょうか。

それから、町立小中学校の卒業式では、和紙製の卒業証書を授与されますが、体験学習を通じて和紙の文化に触れるのも大切なことだと感じています。

この登録を機に改めて文化・技術の伝承と和紙のすばらしさや手づくりの温かさを未来へとつなぐ必要があるのではないのでしょうか。



やわたっ子フェスティバル



政府は次の4つを基本目標として掲げました。①地方における安定した雇用を創出する ②地方への新しいひとの流れをつくる ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる ④時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する。

小学校と中学校の義務教育9年間のカリキュラムを弾力的に運用できる小中一貫校を制度化する学校教育法改正案が閣議決定されました。その一貫校を「義務教育学校」といいます。

我が町再発見

かこうてん 「火光天の火祭り」



飯田神社は「^{こんびら}琴平様」の通称で知られています。160段の石段のある高台に鎮座しています。その本殿の後ろの大きな石碑に、赤い大きな「火光天」という、何か神秘的で真っ赤な文字が目に入ります。これが火光天です。



火光天の祭りは飯田神社秋の例大祭前日の宵祭り。昔は、当番が明け方まで火をたいて祈願する「火祭り」でした。子どもたちもその晩は神社に泊まることが許されて楽しみにしていました。

祭典は夕方6時、宮司の祝詞奏上の後、火光天のろうろくから大きなろうそくに分火し、高く積まれたソダマキ(ナラ・クヌギなどの雑木)に総代長が宮司から受け取ったろうそくの火を点けます。パッと燃え上がる炎に取り巻く氏子たちの心も燃え上がります。

飯田神社副総代長 ^{かさはらていじ} 笠原貞次



編集後記

今定例会から議会体制が新しくなり、編集を担当する議会広報発行特別委員会の構成も新しくなりました。

議会と住民をつなぐ横の糸になりたいと考えています。温かな豊かな小川町をつくるための一助となれるように努力していきます。

編集委員 島崎隆夫



町民の皆さんに議会をより身近に感じていただきたいとの想いの中、私達のできる唯一の情報発信誌として、議会の様子を分かりやすく工夫した紙面づくりをしてまいります。

編集委員 戸口 勝

昔の夢は新聞記者でした。1年生らしく、それぞれの想いをありのままに伝えていきます。

編集委員 笠原規弘

読む人の立場に立って、わかりやすい、いい議会報にしたいと思っています。編集委員みんな張り切っていますから、ほら、いいものができたでしょう。ご意見、遠慮なくお寄せください。

編集委員 笠原 武

委員長として送り出す初めての議会報。編集中は、悪戦苦闘・試行錯誤の連続でした。30～80歳の最強メンバーが集結。今まで以上に議会報から目が離せませんよ。

編集委員長 高瀬 勉

何もかも新米の1年生です。編集副委員長という立場で委員長を助けながら、町民の皆様に読みやすい・わかりやすい議会報をお届けできるよう頑張ります。

編集副委員長 田中照子

議会だより
おがわ No. 77

小川町議会だより 77号
平成27年12月1日発行

発行：埼玉県小川町議会 編集：議会広報発行特別委員会
〒355-0392 埼玉県比企郡小川町大字大塚 55 番地
TEL 0493-72-1221 FAX 0493-74-6877
<http://www.town.ogawa.saitama.jp/kurashi/gikaiinfo>

議会広報発行特別委員会

議 長	根岸 成美
委 員 長	高瀬 勉
副委員長	田中 照子
委 員	戸口 勝
委 員	笠原 武
委 員	島崎 隆夫
委 員	笠原 規弘

議会を傍聴してみませんか

議会では町民の皆様の生活に直結した重要な問題が審議されています。ぜひ傍聴にお越しください。

次回定例会は

12月2日からです



この広報は古紙を配合した紙を使用しています。